

地域につくられた学校の応援団 「留萌市学校支援地域本部事業」の3年間



留萌市では、平成20年度から3年間の計画で、ボランティアの協力により、地域全体で学校を支える体制づくりを目的とした「学校支援地域本部事業」に取り組んできました。今回の特集では、3年間の取り組み内容について報告します。

学校支援地域本部事業の概要

学校支援地域本部事業は、地域住民が学校支援ボランティアとして活動するための体制整備を目的とした文部科学省の委託事業で、地域につくられた学校の応援団でもあります。全国各地で展開されていますが、留萌市では留萌小学校と東光小学校で通学パトロールや校内清掃、学校図書館での図書貸し出しなどの取り組みを行いました。

平成20年度の取り組み

留萌小学校（通学パトロール）PTAと地域住民が連携し、登下校時の見守りを行うことにより、子ども達の安全が高められました。また、ボランティアからの声がかきつけとなり、交通量が多い交差点に押しボタン式信号機が設置されました。

平成21年度の取り組み

留萌小学校（通学パトロール、環境整備）

通学パトロールの他、校内清掃、花壇整備などを行う環境整備ボランティアが加わりました。

校内清掃では、PTAと児童が協力してガラス拭きなどを行うことで、学校をより良くしているとの実感を共有することができたようです。

また、花壇整備では、人気キャラクターを花絵で表現し、児童から好評を得ました。花苗植えに協力いただいたPTAからは「大変だったが、みんなで協力して作業することができて、充実していた」との声も聞かれました。



東光小学校（学校図書館ボランティア）

本に親しみ、読書への関心を高めるため、地域住民による学校図書館ボランティアが、図書委員の児童と一緒に、図書の貸し出しや書架整理などの活動を行いました。図書に関すること以外でも、折り紙など昔ながらのおもちゃ遊びや家族についての相談を受けることもあり、なんでも話せるおばさんとして児童と接していました。



平成22年度の取り組み

留萌小学校では内容を継続してボランティア活動を実施しました。東光小学校では、学校図書館ボラン



ティア活動の一つとして、以前より要望の多かった児童図書補修についての研修会を開催しました。研修会は、苫前町公民館図書室より安藤司書を講師に迎え、市内小中学校の学校図書館ボランティア約30名を対象に開催しました。図書を長持ちさせるコツなどについて説明を受けた後、色画用紙を図書に見立て、糸とじ図書の補修実演を行ない、難しい作業に苦戦しながらも補修技術を学ぶことができたようです。

ボランティアの方々の協力により、留萌市学校支援地域本部事業を実施することができました。3年間の計画であるため、平成22年度で事業は終了となりますが、学校支援地域本部事業の目的である「ボランティアの協力により、地域全体で学校を支える体制づくり」に向けて、留萌市はこれからも「地域で学校を支えることのすばらしさ」や「地域とのつながりの大切さ」を市民の皆さんに広く伝える役割を果たしていきたいと考えています。

皆さんの協力で 同事業を実施できました

留萌市学校支援地域本部事業についてのお問い合わせは
市・教育委員会生涯学習課
☎42・0435